**５年　「水産業のさかんな地域」　（　　９月　７時間　）**

**（１）小単元の目標…**この単元は学習指導要領の内容（２）ア－（イ）（ウ），イ－（イ）に基づいて行う

　主な漁場の分布や水産業に携わる人々の工夫や努力，生産地と消費地を結ぶ運輸の働きを理解し，我が国の食生活を支える水産業の重要性や自然環境とのかかわりについて考えようとする。

**（２）評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| ･水産業に従事している人々工夫や努力，生産地と消費地を結ぶ運輸の働きについて必要な情報を集め，水産業が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。  ･地図帳や資料で調べたこと基に，水産業に関わる人々の工夫や努力について文などにまとめている。 | ･加工の工程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用などに着目して水産業に関わる人々の工夫や努力について考えている。  ･水産業に関わる人々の工夫や努力に関する内容について考えたり，学習したことを基に，社会への関わり方を選択・判断して適切に表現している。 | ･我が国の水産業について，学習計画を基に予想を立て，地図帳や各種資料等を活用し，主体的に学習し，課題を解決しようとする。  ･学習したことを基に，食生活を支える水産業の重要性や自然環境との関わりについて考えようとしている。 |

**（３）知識の構造図**

**中心概念**

　水産業はわたしたちの食生活を支える重要な役割を果たしており、自然環境と深いかかわりをもちながら、水産業に携わる人々の工夫や努力によって営まれている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ➐

**まとめる**

**具体的知識**

・気仙沼漁港で水揚げされた魚は、魚市場でせりにかけられ、トラックなどで新鮮なうちに加工工場や日本各地に運ばれる。 　　　　　　　　　　　❺

　・宮城県には、気仙沼漁港、石巻漁港、塩釜漁港など全国的に有名な漁港があり、水産業がさかんである。　　　　❸

　・国土を海で囲まれ、寒流と暖流が交わる豊富な漁場を持つ我が国は、水産物の消費が多く、水産業は我が国の重要な産業の一つである。　　　　　　　　❶❷

・植林活動によって海の環境を守ったり、多くの機関や人々が協力して震災復興を目指したりしながら水産業は支えられている。　　　　　　　　　　　❼

　・我が国の水産業は２００海里水域の影響や漁業従事者の減少などの問題を抱え、漁業生産量が減少傾向にある。資源を管理しながら安定して生産できる、つくり育てる漁業にも力を入れている。　　　　　　　　　　　　　❻

　・気仙沼漁港では、遠洋漁業、沖合漁業、沿岸漁業が行われ、たくさんの種類の魚がとれ、特にさんまやかつおが有名である。漁船には魚群探知機や冷凍施設などの工夫がある。　　　　　　　　　　❹

・三陸沖

・リアス海岸

・水揚げ

・遠洋漁業

・沖合漁業

・沿岸漁業

・せり

・加工工場

・トラック輸送

・赤潮

・植林

・震災復興

・水産業　大陸だな

・寒流と暖流

・プランクトン

・２００海里水域

・つくり育てる漁業

・資源管理

**用語・語句**

**調べる**

**問題解決的な学習の過程**

**つかむ**

**いかす**

**（４）指導計画**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習  過程 | 主発問  　　　　　主な学習活動・内容 | □指導上の留意点  ☆評価計画 | 資料 | |
| 学習問題をつかむ（２時間） | 我が国で水産業がさかんなのはなぜでしょう。❶  ①日頃食べている水産物を振り返る。  ②資料から我が国で水産業がさかんな地域を確認し，白地図に整理する。  ③資料をもとに，水産業がさかんな理由について気づいたことや疑問について話し合う。  　国土を海で囲まれ，寒流と暖流が交わる豊富な漁場を持つ我が国は，水産物の消費が多く，水産業は我が国の重要な産業の一つである。 | □魚だけではなく，貝や海藻，かまぼこなどの加工食品も水産物であることをつかませておく。  □日本は海流が流れ，大陸棚が広がっていることで，良い漁場に恵まれていることを地図から視覚的につかませる。  **学習問題　　水産業がさかんな地域では，どのようにして，わたしたちのもとにおいしい水産物を届けているのでしょうか。** | ・主な国の水産物の年間消費量  ・主な漁港の水あげ量（地図）  ・白地図  ・大陸棚の図 | |
| 学習問題について予想し，学習計画を立てましょう。❷  ①水産業のさかんな地域での工夫を予想したり，調べ方やまとめかたを考えたりする。  ［調べること］  ・水産物をとる場所や方法　・働く人の工夫や努力  ・漁港のしくみ　・加工工場　・輸送方法 | □「水産物をとる」「水産物を消費者まで届ける」の観点から具体的に考えさせる。   1. ☆我が国の水産業について，学習計画を基に予想を立て，地図帳や各種資料等を活用し，主体的に学習し，課題を解決しようとする。   《主体的に学習に取り組む態度》 |  | |
| 学習問題について調べる（４時間）  　　　　　　　　　　　　　　調べる（８時間） | 宮城県では地理的に恵まれた条件を生かしてどのような水産物がさかんなのでしょう。 ❸  ①地図からリアス海岸の地形や三陸沖が寒流と暖流の潮目から，豊かな漁場であることを確認する。  ②地図や資料から宮城県で水産業がさかんな地域の位置や水あげ量が多い水産物を調べる。  　宮城県は地理的に恵まれた条件から，気仙沼魚港，石巻魚港，塩釜魚港など全国的に有名な漁港があり，まぐろやかつお，さんまなどの水あげが多い。 | □地図から三陸のリアス海岸の地形や，寒流と暖流の潮目を視覚的に確認させる。  □水揚げが多い水産物は名前だけでなく，イラストや写真も掲示する。  □東日本大震災前は，漁業生産量が全国２位だったことも知らせる。  ☆資料から宮城県で水産業がさかんな地理的要因を考えたり，主な水産物の水あげ高を調べたりできる。　　　　　《知識及び技能》 | ・全国の主な漁港の水あげ高  ・みやぎの魚１０選のイラスト  ・宮城の主な魚種別水あげ量  ・地図 | |
| 水産業が盛んな地域ではどのような漁をしていて，新鮮な魚をたくさんとるために漁船にはどんな工夫があるのでしょう。❹  ①気仙沼漁港での水あげが多い魚を調べる。  ②資料と地図から漁の仕方や活動範囲を確認する。  ③遠洋漁業でのかつおの一本釣りやまき網漁，沖合漁業でのさんまの棒受け網漁など，それぞれの漁しくみや工夫を調べる。  水産業が盛んな地域では，遠洋漁業，沖合漁業，沿岸漁業が行われ，特にさんまやかつおが有名である。漁船には魚群探知機や冷凍施設などの工夫がある。 | □船の装備や人の動き，服装などにも着目させる。  □かつおの回遊範囲から遠洋漁業の範囲や漁の期間を確認する。  □さんま棒受け網漁船は集魚灯を使っていることから，漁の時間帯にも気付かせる。  ☆複数の船が協力したり，たくさんの人が役割を分担したりしながら協力して漁をしていることに気付き，調べたことをまとめている。  　　　　《思考力・判断力・表現力》 | ・気仙沼港の魚種別水あげ数量（割合）  ・各漁法の絵図  ・かつおの回遊範囲図 | |
| 水あげされた魚は，どのようにして私たちの元へ届くのでしょう。❺  ①漁港の規模や施設を写真やイラストから話し合う。  ②出荷の流れを時間の流れに沿って整理する。  ③魚が運ばれる経路を道路地図で確認する。  ④新鮮な魚を水産加工品づくりにも生かしていることを確認する。  水あげされた魚は，魚市場でせりにかけられ，トラックで新鮮なうちに加工工場や日本各地に運ばれる。 | □生産から販売まで多くの人がかかわっていることに気付かせる。  □水産物の値段には生産から販売までの様々な費用が含まれていることを図解して理解させる。（水産加工品も含む）  ☆漁港には様々な機能があり，新鮮なまま消費者に届けるために出荷から輸送まで工夫があることを理解している。　《知識及び技能》 | ・漁港の写真やイラスト  ・せりの様子がわかる映像  ・道路地図 | |
| 学習  過程 | 主発問  　　　　　主な学習活動・内容 | □指導上の留意点  ☆評価計画 | 資料 | |
| 学習問題について調べる  める（１時間） | 日本の水産業はどのような問題を抱え，どのような取組をしているのでしょうか。❻  ①地図やグラフから，日本の水産業が抱えている問題を考え，ノートにまとめる。  ②気仙沼でのホヤの養殖業と，ひらめの栽培漁業からそれぞれの仕組みやちがいを整理する。  ③つくり育てる漁業の良いところを話し合う。  　我が国の水産業は，２００海里水域の影響や漁業従事者の減少などから生産量が減少している。生産量を安定させるために，とる漁業だけでなく，安定して生産できるつくり育てる漁業にも力を入れている。 | □２００海里水域の影響が分かるように，生産量のグラフで時期を確認させる。  □漁業別生産量の変化と輸入量の変化の２つのグラフを比較させ，生産量は減少している一方で輸入量は増加していることをつかませる。  □働いている人の数や，生産量のグラフから，つくり育てる漁業は少人数で安定して生産できることを確認させる。  ☆資料から，水産業従事者数の減少や高齢化を，養殖業以外の生産量が減少している一方で輸入量は増加していることを読み取っている。　　　《知識及び技能》 | ・２００海里水域図  ・漁業別生産量の変化と輸入量の変化  ・年齢別水産業従事者数  ・つくり育てる漁業の写真や生産量  ・資源管理の図 | |
| まとめる（0.5時間） | 調べたことをもとに，学習問題について考えをまとめましょう。➐  ①調べたことをもとに，水産物がわたしたちの元に届くまでの働く人の工夫や努力を生産と流通の観点からまとめる。  **水産業はわたしたちの食生活を支える重要な役割を果たしており，自然環境と深いかかわりをもちながら，水産業で働く人々の工夫や努力によって営まれている。** | □生産は，遠洋漁業，沖合漁業，養殖・栽培漁業に分類させる。  ☆水産業で働く人々の工夫や努力によって，わたしたちの食生活が支えられていることを理解している。　　　　　《知識及び技能》 | | ・これまでのノート記録 |
| いかす（0.5時間） | これからの水産業を守っていくために，人々はどのような取組をしているのでしょう。➐  ①資料から，植林活動や震災復興の努力を知る。  ②考えたことを話し合う。  　山で植林活動をすることによって環境を守ったり，震災復興のために県内外のたくさんの機関や人々が協力したりして水産業を支えている。 | □復興前と震災直後，震災後の生産量の変化などの統計をもとに，具体的に復興していること示す。  ☆人々の工夫と努力によって水産業が守られ，私たちの食生活が成り立っていることを表現している。  《思考力・判断力・表現力》 | | ・山にある大漁旗の写真  ・「森は海の恋人」  ・震災復興の様子の写真 |

ポイント

水産物の値段　＜フィッシュボーンチャート＞

※水産加工品除く

**（５）ワークシート**

水産物の値段には生産から販売までにかかる様々な費用が含まれていることが分かるように，生産から流通の流れを確認して，どのような費用がかかっているのかをおさえる。

水産物がわたしたちの元に届くまで

水産物

の値段

運　輸

トラック代

ガソリン代

高速道路代

販売店

包装代・店舗代

冷蔵・冷凍代

宣伝広告代

漁　師

餌・管理代

燃料代

漁船・機器類代

漁港・魚市場

クレーン・リフト代

冷蔵・冷凍設備代

水道・電気代

人件費

**水産物**

（漁師）

漁港・魚市場

（漁業組合　せりの仲買人）

　　トラック輸送

加工工場

（工場で働く人）

トラック輸送

商店・スーパーマーケット

　　　　　（お店で働く人）

わたしたち

メモ

**みやぎの魚１０選＋２**

まぐろ，かつお，さんま，

ぎんざけ，かれい，はぜ，

あゆ，かき，あわび，

ほや，（わかめ，こんぶ）

宮城県（宮城の水産業）：http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/suishin/miyaginosuisangyou.html

気仙沼市（気仙沼の水産）：http://www.city.kesennuma.lg.jp/www/contents/1174375791459/